

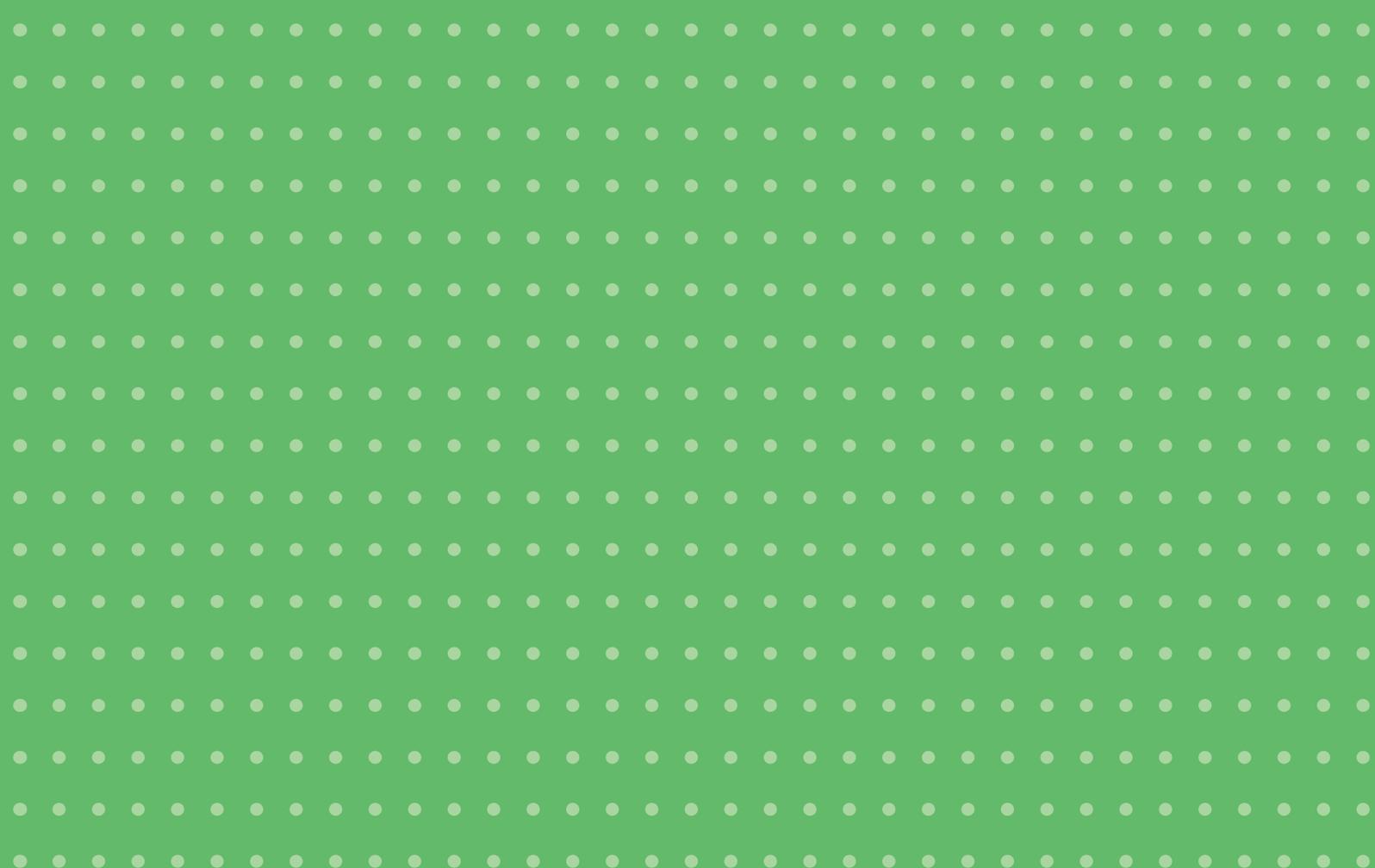
北海道  
大 学

附 属

図 書 館

年 報 2025

Hokkaido University Library  
Annual Report



# Contents

館長巻頭言 .....	1
令和6年度 Topics	
1. 教育学習支援 .....	2
2. 研究支援 .....	8
3. 社会貢献と国際化 .....	11
4. その他 .....	15
連携事業 .....	19
ガイダンス・講習会 .....	20
活動日誌 .....	22
学外講師派遣等 .....	25
統計 .....	26
図書館委員会名簿 .....	30
組織図 .....	31

## 北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の4つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標を掲げる。

### 教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

### 研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

### 社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

### 組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

## 附属図書館年報 2025 年版の 刊行に当たって

「附属図書館年報」は、附属図書館全体の概要紹介と活動の詳細な記録を報告するために、2014 年から刊行を始め、本号で第 12 号となります。本年報は 1 年前の活動の記録を報告するもので、本号は 2024 年度の活動を報告しています。

2025 年度の新たな動きを二つ紹介したいと思います。

まず一つは、附属図書館の事務体制の変更です。

新たに「学術情報部」が設置され、これまでの図書館事務部の各課が、この新たな部に編入されました。名称も変更され、「図書館企画課」、「図書館利用支援課」、「学術情報支援課」となりました。各課が担当する業務に大きな変更はありません。

学術情報部にはこの 3 課の他に、「情報企画課」があり、全部で 4 課から成っています。部の名称から分かるように、研究や教育の学術情報を大学として一体的に管理・運用できる体制を整備することが目的です。電子ジャーナルの問題一つとっても、図書館だけの判断で決めるのではなく、大学の研究力や研究戦略と不可分に結びついています。さらに、昨年この巻頭言に書きましたが、「オープンアクセス」への対応のためにも、学内の学術情報に関する事務体制を一元化し、効率的そして効果的に対応する必要があります。

このような事務体制の変化は、附属図書館の今後の在り方とも密接に関連すると思います。図書館を利用する学生の数は減少傾向にあります。コロナ禍の時よりは改善されていますが、コロナ禍前の状態には戻っていません。また来館する学生の多くは、学習スペースとして図書館を利用しています。この点は以前と変わりはないのですが、何かを調べるために図書館に来る、資料を求めて書庫や書棚の間をさまよう姿はあまり見かけなくなったように思います。図書館ではパソコンのキーボードを叩く乾いた音が響いています。

もう一つの新たな動きは、「こども本の森 札幌・北大」です。

これは本学の創基 150 周年記念事業の一つであり、建築家の安藤忠雄氏のご寄付により、本学の敷地内に建築される図書館です。この図書館は、本学と札幌市が共同で担うことを予定しており、札幌市の図書館の一つとして、基本的に運営は札幌市が行います。附属図書館も「こども本の森」に積極的にに関わり、本と人、人と人の新たな出会いの



附属図書館長

山本 文彦

場、そして新たな情報発信の場として活用したいと考えています。

「こども本の森」には、安藤忠雄氏の強い思いが込められています。こどもが本と出合う場を作り、本を開いて読み、心を鍛え、生きる力を鍛える場として、日本各地にこどもの図書館「本の森」を作っています。本学にできる「こども本の森」は大学の中に建てられる唯一の「こども本の森」です。本を読む楽しさを子どもの時に体験してほしい、この緑あふれる大学のキャンパスの中で多くの本と出合っしてほしいと、建築地を決めるために来学された安藤氏は熱く語っていました。本と出合う場、図書館の原点ともいえるものですが、今の附属図書館が失いつつある部分かもしれません。「こども本の森」を通して、附属図書館の今後の在り方を改めて考えることができるのかもしれない。

「こども本の森 札幌・北大」は来年 2026 年の夏頃に開館予定で、現在、中央ローンの南側で工事が始まっています。四季折々に美しい中央ローンを挟んで附属図書館と向かい合う形で、素敵な図書館ができます。安藤氏の思いを胸に刻み、多くの皆さんにご利用頂けるように、準備を進めていきたいと思っています。

本年報により、附属図書館が昨年度どのような活動を行ってきたのかをご理解いただくとともに、引き続き皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

# 令和6年度 Topics

## 1 教育学習支援

### A 学習支援

#### (1) スタディ・スキルセミナー

2024年度アカデミック・スキルセミナー  
スタディ・スキルセミナー

ラーニングサポート室 & 附属図書館

動画・スライドで学んだ後に確認問題で自分の理解度をチェックしてみよう！

スタディ・スキルとは？  
レポートの書き方や文献の探し方、授業を受ける際の構えなど、大学での学びの基本スキルのこと。

まずはこの3つにチャレンジ！

文献の探し方  
論文ってどう読むの？  
自宅から文献を探する方法って？  
レポート作成に役立つ、信頼のおける図書や論文の探し方を紹介します。

大学の学びのプロセス  
「問い」を定める  
「問い」について学ぶ  
「問い」を深めていく  
「問い」を定めていく  
大学の学びのあり方、学習の目的、学習の仕方、学習の環境、学習の成果などについて紹介します。

引用の方法  
レポートの書き方と引用  
レポートを書く際の基本知識を解説します。

タイプ別レポートの書き方はこちら！

「論述型レポートの書き方」  
「実験レポートの書き方」  
にも挑戦してみよう！

お問い合わせ：ラーニングサポート室 高等教育推進機構E211  
電話 011-706-7526 メール iso\_office@hgh.hokudai.ac.jp

ポスター

本学学生の進路・修学相談や主体的な学習への支援を行うラーニングサポート室と協働し、学部学生1、2年次を主な対象として、大学での学習の基本となる「スタディ・スキル」を身に付けるためのオンデマンド形式のセミナーを通年で実施した。

セミナー教材のうち図書館では、全学教育科目内で実施している初年次学生向けの「図書館情報入門」の内容をベースにした「文献の探し方」の教材を作成し、通年でスライド教材186回、動画教材71回の利用があった。

#### (2) 出張学習サポート

5月23日（木）、27日（月）、28日（火）の3日間にわたり、北図書館西棟2階セミナールームで、「出張学習サポート」をラーニングサポート室と共催した。「学習サポート」とは、ラーニングサポート室が実施してい



イベントの様子



展示の様子

る大学院生チューターによる学習支援サービスであり、普段は高等教育推進機構 E210 室で質問や相談を受け付けているが、より多くの学生の支援を行うことを目的として、学生の利用が増える試験期間中の北図書館を会場に設定し実施した。数学、物理、化学等を対象科目とし、合計11名の学生から相談を受け付けた。

併せて、5月23日（木）～6月13日（木）の期間、サポート会場及び北図書館2階カウンター前にラーニングサポート室や大学院生チューターによる推薦図書43冊を展示した。推薦図書は、チューターがサポートで使用する学習に役に立つ図書を中心に選ばれた。多くの展示図書が貸し出され、学生の学習に有用な図書の利活用につなげることができた。

### (3) めざせ100万語！英語多読マラソン



案内チラシ

#### 1) 参加状況

今年度の英語多読マラソン新規参加者は279名、累計参加者は3,402名となった。

また、達成証を進呈する節目の語数を新たに達成した参加者は、10万語が42名、100万語が1名だった。

#### 2) 全学教育科目英語授業でのエクリーの活用

メディア・コミュニケーション研究院濱井祐三子教授、原田真見准教授の協力により、今年度も引き続き英語多読マラソンシステム「エクリー」が、全学教育科目の英語授業で活用された。

#### 3) 他大学教員との情報交換

英語多読を研究対象とする他大学教員からの要望を受け、2度にわたって北図書館の多読資料コーナーの紹介や英語多読マラソン事業の説明等、担当職員との情報交換を行った。「特に「エクリー」の取組みが参考になった。今後も情報を共有して双方の大学における英語多読の発展に努めたい」との声をいただいた。

メディア・コミュニケーション研究院の濱井祐三子教授におかれましては、11月6日(水)に逝去されました。

濱井先生には、図書館の英語多読マラソン事業に惜しみないご協力をいただきました。濱井先生の早すぎのご逝去に謹んで哀悼の意を表すとともに、これまでのご貢献に深く感謝いたします。

### (4) 「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示



展示の様子

4月25日(木)～6月25日(火)、北図書館で新入生向けに「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示を行った。

北海道大学生協同組合(以下、「北大生協」)書籍部と連携して実施したもので、同じタイトルの本が北大生協では購入でき、北図書館では借りることができるよう、同時期に開催した。アカデミックスキル(レポート・論文の書き方、プレゼンのしかた等)、ライフスキル&コミュニケーション、新生活応援、北海道関連の4つのテーマを設けて、本学学生としての新たなスタートを応援するという企画で、併せて北大生協及び北図書館について紹介する広報ポスターやチラシ等も展示した。

期間中、展示した210冊中163冊が貸し出され、貸出回数は延べ486回となった。

### (5) 全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示



展示の様子（北図書館）



展示の様子（本館）

北大生協も加盟する全国大学生生活協同組合連合会では、学生を対象に読書の感想を募る全国読書マラソン・コメント大賞を毎年開催している。そこで北大生協と連携し、学生が多様な図書に触れる機会を設けることを目的として、8月29日（木）～10月21日（月）に本館及び北図書館で図書展示を行った。

過去（平成22年～令和5年）の受賞作のうち図書館に所蔵があるものを、本館30冊、北図書館136冊展示し、併せて北大生協から提供された同大賞のポスターや冊子等も展示した。

本館では延べ56回、北図書館では延べ196回の貸出があった。

### (6) 学部選択参考図書展示



展示の様子

9月24日（火）～11月8日（金）、初年次学生が移行先の学部を決定する際に参考となるよう、北図書館で「学部選択参考図書展示」を行った。これはラーニングサポート室と連携して実施したもので、協同して展示用図書の選定を行った他、ラーニングサポート室が作成した資料の配布やアカデミックマップの掲示を行った。

期間中、展示した37冊中14冊が貸し出され、貸出回数は延べ18回となった。

### (7) 大学院特別教育プログラム OGGs（オグズ）展示



展示の様子（本館）



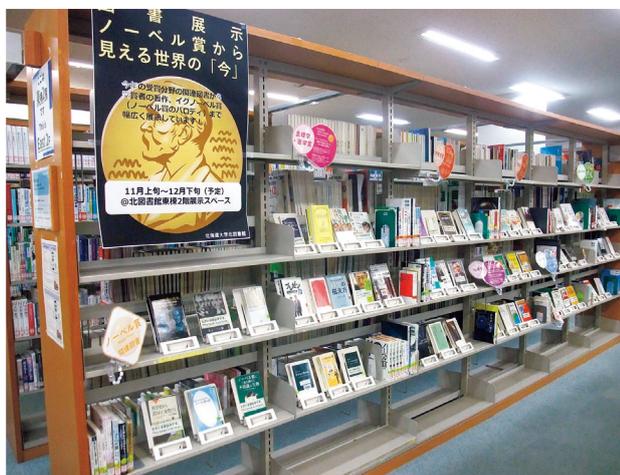
展示の様子（北図書館）

4月～3月の1年間、本館及び北図書館で「大学院特別教育プログラム OGGs（オググズ）」展示を学務部国際交流課と共催した。

本展示は、これまでプログラムに関係する教員の研究室に所属する学生が中心であった参加者を、より広く全学的に募るための広報活動の一環として継続的に開催しており、プログラムの紹介ポスターや推薦図書を紹介の掲示に加え、紹介映像投影のためのデジタルサイネージも設置している。

本館、北図書館ともに1年を通して配布資料が手に取られている様子が多く見られ、学内におけるプログラムの周知やその有用性についての理解促進につなげることができた。

## (8) 2024年ノーベル賞関連図書展示



展示の様子

11月7日（木）～1月8日（水）、北図書館で、今年発表されたノーベル賞各賞に関する「2024年ノーベル賞関連図書展示」を行った。これはノーベル賞受賞研究の学問的位置づけを理解する一助となること、学生が多様な図書に触れられる機会を設けることを目的として企画、実施した。

期間中、展示した171冊中83冊が貸し出され、貸出回数は延べ197回となった。

## (9) 進路選択応援！就活・進学関連図書展示



展示の様子

1月8日（水）～3月19日（水）、北図書館で就職活動や大学院への進学に関連する「進路選択応援！就活・進学関連図書展示」を行った。これは就職活動開始時期に合わせて実施し、様々な進路に関する図書を展示することで学生により多様な選択肢に触れる機会を設けるとともに、図書館資料の活用促進を目的としている。

期間中、展示した129冊中106冊が貸し出され、貸出回数は延べ252回となった。

## B | 情報リテラシー教育

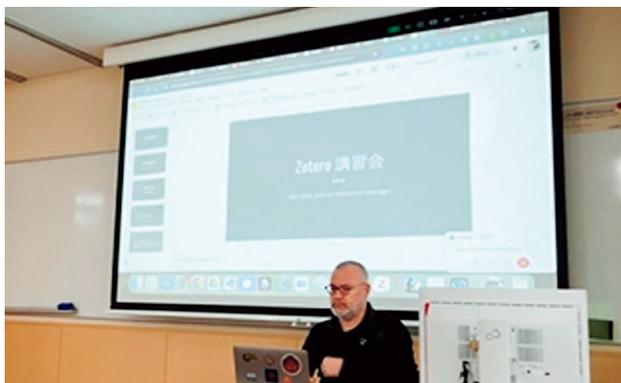
### (1) 図書館情報入門

「図書館情報入門」は、初年次学生を対象にレポートや論文作成に必要な学術文献の効率的な入手方法の習得を目的に実施している。全学教育科目の「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）」及び「主題別科目（論文指導）」において、教員からの依頼により、授業の1コマ（90分）を使い対面形式で実施した。

実施後のアンケートでは、「満足」と答えた学生が81.2%であり、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせると99%以上となった。

また内容の一部は、図書館が作成に関わった初年次学生のための導入科目「北大での学び」の「第3回 正しく安全に学ぶために」の「情報リテラシー」部分の教材にも含まれている。

### (2) 文献収集・管理ツール講習会



Zotero 講習会の様子

10月末～11月中旬、「知って 選んで 使う！文献収集・管理ツール講習会」を北図書館で開催した。利用目的が同じツールの講習会をシリーズで開催することにより機能等を比較しやすくし、利用者が必要に応じて適切に選択できることを目指し企画した。

シリーズの構成は後述の通りで、ツールごとに3回に分けて実施した。さらに番外編として若手研究者に向け、海外助成金情報データベース「Pivot-RP」の紹介を統合URA本部と共催した。

また、各回のアーカイブ動画を図書館 Web サイトに

おいて2月末日まで学内構成員限定で公開した。

シリーズ全体で76名（Zotero編のオンデマンド受講者を除く）の学生・教職員が参加し、講習会後のアンケートでは「複数のデータベースや文献管理ツールを比較する機会となった」との回答が多く寄せられ有意義な講習会となった。

#### シリーズ構成

- ・第1回 Mendeley 編（形式：オンライン、外部講師）
- ・第2回 EndNote 編（形式：オンライン、外部講師）
- ・番外編 Pivot-RP の紹介（形式：オンライン、外部講師）
- ・第3回 Zotero 編（形式：対面及びオンデマンド、講師：高等教育推進機構ミヒヤエル・シルツ准教授）

### (3) 基礎からはじめる「法情報の探し方」セミナー

法学研究科法学政治学資料センターと連携し、図書館と法学政治学資料センターで所蔵している法学関連の図書や雑誌の網羅的な探し方や法情報収集の基礎を身に付けることを目的として対面形式で開催した。春と秋を合わせて5回実施し、計76名が参加した。

### (4) 国際機関情報の探し方セミナー

国連寄託図書館・EU情報センターとして国際情報の入手方法についてわかりやすく解説し、グローバルな課題に対する情報収集スキルを高めることを目的として開催した。11月25日（月）に「国連編」「EU編」を対面形式で開催、各編とも6名ずつ、計12名が参加した。

### (5) 各種データベース講習会

研究や学習、就職活動等に幅広く役立ててもらうことを目的として、本学が契約する学術文献データベースや文献管理ソフトの利用講習会を専門の外部インストラクターとの協働により開催した。「Web of Science」「日経テレコン」「JapanKnowledge Lib」「Mendeley」「Zotero」の他、「CAS SciFinder-n」といった分野に特化したデータベース等も含め、本館、北図書館や部局での対面形式に加え、オンライン形式を合わせて計10回開催した。

## (6) オーダーメイド講習会

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とするオリジナル型の講習会で、教員と図書館職員とで内容を相談しながら実施している。部局図書室の独自の分野に特化した内容の講習会も増えており、授業に合わせた演習や文献管理ツールの活用等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形態で、対面形式を中心に計22回実施した。

### C | 障がいのある学生への支援

図書館では、障がいのある利用者に安心して利用してもらえるよう設備や貸出物品を整えている。

施設・設備面での支援の他、印刷された図書や論文を読むことが困難な学生のために図書館の資料を電子化する「プリント・ディスアビリティのある利用者のための資料電子化サービス」を本学学生相談総合センターアクセシビリティ支援室と協働して行っている。

登録利用者である学生からの依頼を受け、電子化業務のピアサポーター（支援学生）39名が主体となり、今年度は22件の資料を電子化し提供した。

また、全学教育科目「健康と社会」（講義題目：キャンパス・アクセシビリティ入門）において、電子化における法的な知識に関する講義と実習を3名の職員が担当した。同時に「カラーユニバーサルデザイン」についても講義を行った。

さらに、大学在学中から卒業後にも利用できる学外の障がい者サービスについて紹介する資料を作成し、図書館ホームページで公開した。

その他、電子化が完了したデータのうち103件を「みなサーチ(国立国会図書館障害者用資料検索)」へ提供し、加えて国立情報学研究所読書バリアフリー資料メタデータ共有システムへ登録する等、電子化データの学外への共有も進めている。

また、10月15日（火）に「みなサーチ」に係る取組みが「Library of the Year 2024」ライブラリアンシップ賞※を受賞した。国立国会図書館を中心として各地の図書館と障がい当事者・支援者が協力して構築してきた障がい者等用データ及び資料検索サービスについて、社会性と技術力の高さに加えてその意義が評価された。

今後も電子化データの全国共同利用体制への積極的な参加や他機関との情報共有を継続しより良いサービスの提供を目指す。

※「Library of the Year」とは、NPO法人知的資源イニシアティブ（IRI）が、これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に授与する賞で、その中でも「ライブラリアンシップ賞」とは、長期にわたり地域住民や図書館員が協同し継続的に行われている優れた図書館サービス等に対しその関係者を称えるために贈られるものである。

### D | どこでも返却（部局限定試行）

他館資料を全学のどこの図書館・室でも返却できるようにすることを目的としてWGを立ち上げ、令和5年10月から、4つの部局図書室（工学研究院（中央）、理学研究院（中央）、歯学研究院、獣医学研究院）を対象として試行を開始した。この試行は、部局図書室に返却された本館・北図書館の資料を、「資料搬送便」を用いて本館・北図書館へ搬送するものである。

今年度は11部局（室）にまで徐々に範囲を拡大しながら試行運用を継続し、その結果、ほぼ毎日、部局図書室のいずれかへ資料が返却されており、冊数は少ないながらも確実に需要のあることが明らかとなった。また、部局図書室での取り扱い冊数自体は、本館・北図書館いずれも貸出冊数全体の1～2%であり、システム処理、搬送作業ともに、作業量の負担が過度に増大することなく処理できることが検証された。

試行の結果を踏まえ、令和7年4月から範囲を全学（札幌キャンパス・17部局（室））に拡大し、図書館が提供するサービスの一つとして正式に運用を開始する。

## 2 研究支援

### A 研究者向け講習会

#### (1) 学内他部署と共同で実施したセミナー

先端人材育成センター・I-HoP 及び統合 URA 本部主催のセミナーに協力した。また、メディア・コミュニケーション研究院が開催する FD 研修に講師として協力した。

##### 1) Writing a Compelling Article for Journal Submission (英語論文執筆セミナー)

主に国際誌に論文を投稿する若手研究者を対象に、論文の執筆に係るポイント等を解説するセミナーである。12月26日(木)、オンラインで実施し、他大学の学生等を含め、49名が参加した他、後日学内限定で動画配信を行った。図書館は広報活動に協力するとともに、「英語論文執筆に役立つ図書リスト」の作成と配布を行った。

##### 2) Pivot-RP 講習会 (研究資金助成金申請書の書き方セミナー)

研究資金獲得のため、特に若手研究者へ海外研究資金情報の収集方法を周知するもので、助成金申請の際の注意点と、海外研究費情報データベース Pivot-RP について解説するセミナーである。11月7日(木)、オンラインで日本語及び英語により実施し、7名が参加した他、後日学内限定で動画配信を行った。図書館は広報活動に協力した(\*本講習会は、6ページ掲載「文献収集・管理ツール講習会 番外編 Pivot-RP の紹介」と同じもの)。

##### 3) メディア・コミュニケーション研究院 FD 研修「アカデミアにおける「ハゲタカ問題」について」

投稿料による収益を狙った悪質な学術誌の問題と、論文投稿にあたっての注意点等を図書館職員が講師として説明した。

12月12日(木)、メディア・コミュニケーション研究院で実施し、16名が参加した。

### B 研究者向けサービス

#### (1) 文献検索相談・代行サービス

医系グループ(医学研究院・保健科学研究院・歯学研究院の各図書室担当)では、本学の医系研究者を対象に、研究テーマに応じた先行研究調査を代行する「文献検索相談・代行サービス」を実施した。

本サービスは、検索テーマやキーワード等を研究者と相談の上、図書館職員が国内外のデータベースから文献調査を行う他、データベースの利用方法、文献管理や入手方法に関するアドバイスを提供するものである。平成28年7月のサービス開始以来、特に診療ガイドライン(GL)やシステマティックレビュー(SR)のための網羅的な文献調査を必要とする研究者を支援してきた。令和3年度にはそれまでの取組みが評価され、国立大学図書館協会賞を受賞している。

今年度は計31件の申込みがあった。申込者の所属部署の内訳は、医学研究院7件、保健科学研究院21件、病院2件、教育学院1件だった。申込目的の内訳は、GL作成が3件、SR作成が2件、スコopingレビュー作成が7件、修士・博士論文執筆が11件、看護研究が7件、その他の先行研究調査に関する文献検索が1件だった。

直近の成果としては、文献検索を代行したレビュー論文<sup>1,2</sup>や診療ガイドライン<sup>3</sup>が出版された。

1. Watanabe Y, Matsuda N, Miura K, et al. Oral frailty and its association with systemic health: A narrative review. *Oral Sci Int.* 2025; 22(1): e1278. doi: 10.1002/osi2.1278
2. Nakamura M, Luo Y, Ebina Y. Systematic Review on the Efficacy of Moisturizing Therapy in Treating Nipple Trauma and Nipple Pain. *J Hum Lact.* 2025; 41(1): 39-53. doi: 10.1177/08903344241301401
3. 日本頭頸部癌学会. 頭頸部癌診療ガイドライン 2025年版. 金原出版; 2025. (IVクリニカルクエスチョン(CQ) IV-6. 下咽頭癌 CQ6-3, 6-4 IV-7. 喉頭癌 CQ7-4 IV-11. 外科治療 CQ11-1, 11-2)

## C | 学術研究コンテンツの整備

### (1) 令和 7 年度学術研究コンテンツの整備

本学では、平成 29 (2017) 年度分選定より特定経費（全学で使用する電子ジャーナル及びデータベース（以下、「学術研究コンテンツ」）整備のために配分されている経費）の上限が設定された。その一方で、毎年の原価値上げや為替相場の影響により、学術研究コンテンツ整備にかかる経費が増大し続ける状況は変わっていない。

この状況に対応するため、令和 3 年度には電子ジャーナル・データベースについて、安定的な整備のための基本的な考え方や財源の在り方、さらには新たな研究支援の可能性等、全学的な観点から本学に必要な方策を検討するため、「電子ジャーナル等整備検討委員会」が新たに設置された。

この委員会でとりまとめられた提言に基づき、令和 7 年度特定経費による学術研究コンテンツについては、令和 6 年度タイトルを上限として図書館で選定を進めることが認められ、電子ジャーナルについては令和 6 年度購読タイトルをすべて継続することとなった。

学術文献データベースについても、部局に継続希望調査を行い、令和 6 年度購読のデータベースすべてにおいて部局から継続希望があったため、すべてを継続することとなった。

## D | 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成 20 年 5 月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については 5 件の申請（うち 1 件辞退）があり、以下の 1 件を採択した。発行は令和 7 年度の予定である。

- ・樺太からの引揚者と戦後北海道／木村由美

また、昨年度採択された以下の図書 1 件を発行した。

- ・当事者が語る「貧困とはなにか」：参加型貧困調査の可能性／陳勝

欧文誌については、文系 8 部局を対象に募集を行い、以下の 3 誌を採択した。

- ・ Acta Slavica Iaponica（スラブ・ユーラシア研究センター）
- ・ Journal of Applied Ethics and Philosophy（文学研究院）
- ・ Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences（文学研究院）

本事業により、これまでに図書 23 冊、欧文誌延べ 5 誌を刊行した。刊行した図書は本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また欧文誌は電子版が利用可能である。

## E | 北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP)

### (1) 収録文献総数 80,000 編到達

HUSCAP は、本学構成員の学術成果の発信に寄与するため、文献の提供依頼と登録作業を行っており、2 月に収録文献総数が 80,000 編に達した。

#### 収録文献総数の記録

収録文献数	到達月	10,000 編登録の所要月数
10,000 編	平成 18 (2006) 年 11 月	
20,000 編	平成 19 (2007) 年 10 月	11 か月
30,000 編	平成 21 (2009) 年 12 月	2 年 2 か月
40,000 編	平成 25 (2013) 年 4 月	3 年 4 か月
50,000 編	平成 28 (2016) 年 7 月	3 年 3 か月
60,000 編	平成 31 (2019) 年 3 月	2 年 9 か月
70,000 編	令和 3 (2021) 年 12 月	2 年 9 か月
80,000 編	令和 7 (2025) 年 2 月	3 年 2 か月

### (2) Data Availability Statement に関する調査

昨年度に引続き、図書館がどのように研究者のデータ共有の支援を行うべきかを検討する材料とするため、本学研究者の研究データ公開状況及び出版社の Data Availability Statement（根拠データの利用可能性に関する声明）の作成に関する出版社の方針について調査を

行った。

### (3) 機関リポジトリシステムの導入

本学は文部科学省の「オープンアクセス加速化事業」に採択され、事業の一環として、HUSCAPを利用者の使い勝手や図書館側のデータ登録作業の設計等を現在のニーズに合わせた、更に効率的なシステムとするため、次期 HUSCAP のために新たに「機関リポジトリシステム」を導入した。このシステムによる HUSCAP の運用を令和7年度のうちに開始することを目指している。

### 3 社会貢献と国際化

#### A 北方資料公開

##### (1) 北方資料掲載申請

全国からの依頼によるテレビ放送や図書等への写真掲載等の許可件数は103件あり、資料点数としては288点であった。内訳は次の通り。

- ・ 放映許可件数：14件 資料数：20点
- ・ 掲載許可件数：89件 資料数：268点

##### (2) 北方資料データベースアクセスランキング

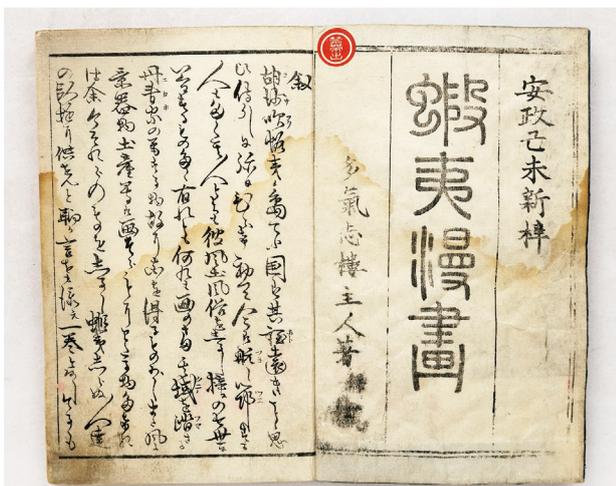
北方資料データベースのアクセス数上位資料は次の通り。

順位	資料名（請求記号）	アクセス数
1	松前蝦夷地絵図（図類 647）	72
2	蝦夷漫画（多気志楼 17）	60
3	最近札幌市街地図（図類 1179）	53
4	銭函村白浜家文書（道写本 187）	52
4	石狩国札幌市街之図（図類 858）	52

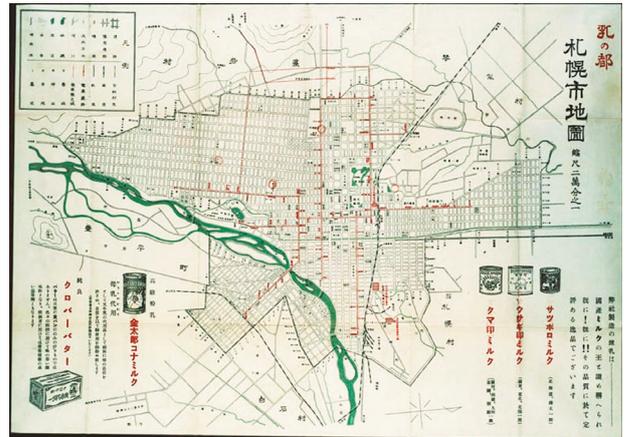
※算出条件：書誌ページを開いたユニークユーザーの数



1 松前蝦夷地絵図  
(パブリックドメイン)



2 蝦夷漫画 安政6年（パブリックドメイン）



3 最近札幌市街地図 昭和4年（パブリックドメイン）



4 銭函村白浜家文書



4 石狩国札幌市街之図 明治10年代末（パブリックドメイン）

### (3) 北方資料原写真の高解像度画像化

今年度交付された科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「データベース」により、北方資料の一部である『明治大正期北海道写真目録』に収録されている写真原本（鶏卵紙等）約5,500枚のうち、著作権保護期間満了かつ高解像度画像が未撮影であるもの692枚について、高解像度画像を撮影するとともに国際規格であるIIIF（International Image Interoperability Framework）に対応させたうえで公開を行った。

撮影は接写（トリミング）、全体像、背面の3カットカラー撮影とし、「資料、台紙の素材や色の様子」及び「周辺、裏の書き込み」といった付加情報を読み取ることができるように整備した。このことにより、新たな発見や議論への展開が期待できる。

### (4) 北方資料企画展示「北方古地図展（第一期）」



ポスター

9月28日（土）のホームカミングデーに合わせ、8月23日（金）～9月29日（日）、本館正面玄関ロビーで開催した。

図書館は北方地域に関する多くの資料を所蔵してい

る。なかでも北海道（蝦夷）、カラフト、千島の地図・図類は系統的に収集され、興味深いコレクションのひとつである。本企画では、同コレクションより江戸初期～明治初期にかけて作成された特色ある北海道図を選出し、図の変遷をたどりながら北海道の歴史を概観した。

「元禄国絵図」（元禄13（1700）年）等に代表される江戸中期の地図では、蝦夷地やカラフトの形は定まっていないものの、一部にはすでに地名の記載が見られる。

やや時代を下り、「松前蝦夷地嶋図」（文化13（1816）年）は実測により作成された地図で、海岸・河川の名称が詳細に書き込まれている。さらに、松浦武四郎による「東西蝦夷山川地理取調図」（安政6（1859）年）は、木版印刷26枚組の切り図として知られる同名の地図群を一枚に貼り合わせた珍しい一品である。原寸236×353cmを誇る巨大な地図で、本企画では約半分の大きさの複製パネルをご覧いただいた。多くの来場者から「よかった」との評価をいただいた。

## B 国際連携強化

### (1) 国連寄託図書館、EU情報センター

図書館は、日本で3番目の国連寄託図書館であり、日本で8番目のEU情報センター（EU i）である。

#### 1) EUフレンドシップウィーク関連図書展示



展示の様子

毎年、駐日欧州連合代表部広報部と国内のEU情報センターが、ヨーロッパデー（5月9日）の時期に連携して行う「日・EUフレンドシップウィーク」のイベント

に参加している。今年は、5月9日(木)～5月31日(金)に、本館 Sky Open Area で「EU LUV! ベルギー&ハンガリー 図書展示 ～2024年 EU 議長国から～」と題して、EU 議長国関連の図書展示（ブックログ公開含む）を行い、併せて EU クイズを実施した。展示図書は7冊が貸し出され、EU クイズは22名の応募があり、クイズ正解者の中から抽選で18名に EU グッズを贈呈した。

## 2) 北海道大学附属図書館 × SDGs 関連図書展示



ポスター

国連広報センターが推奨する SDGs 活動の一環として、10月24日(木)～11月28日(木)に Web 上での関連図書展示（ブックログ公開含む）を行い、本学構成員に改めて SDGs について理解を深めてもらうとともに図書の利用促進を図った。今年は「3 すべての人に健康と福祉を」をテーマに行い、電子書籍10冊を含む計15冊が貸し出された。

## 3) 駐日欧州連合代表部との協力

7月19日(金)に駐日欧州連合代表部主催の EU i セミナーがオンラインで開催された。駐日欧州連合代表部 学術協力担当リチャード・ケルナー氏の開会式辞、招聘講師による基調講演、EU に関するレファレンストレーニング、各機関の近況報告、参加図書館間のオンライン交流等のプログラムが組み立てられ、図書館からも担当職員2名が参加した。

## C | 展示会・公開イベント

### (1) 週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」



X (旧 Twitter) での公開の様子

北図書館では令和2年度から、週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」を実施している。学生の興味を引くテーマや話題となっているテーマを取り上げる、利用者から随時募集しているリクエストによるテーマを採用する等、多様な図書を紹介することで読書意欲の向上を目的としている。利用者から応募のあったテーマにはさまざまなトピックが寄せられており、関心の高さが伺える。

展示図書は X (旧 Twitter) とブックログで公開している。

## (2) ダイバーシティ&インクルージョン図書展示



展示の様子（本館）



展示の様子（北図書館）

12月～3月の4ヶ月間、本館及び北図書館で、「ダイバーシティ&インクルージョン図書展示」をダイバーシティ・インクルージョン推進本部（DEI推進本部）と共催した。

展示では、「女性のエンパワーメント」「ジェンダー・セクシュアリティ」「障がいの理解と支援」「DEIをめぐる多様な視点」の4テーマを設け、本館と北図書館でそれぞれ展示図書を選書した。学内で募集した推薦図書と合わせて、本館では45冊、北図書館では47冊の関連図書を展示した。

本館、北図書館ともに多くの展示図書が貸し出され、学内における「ダイバーシティ&インクルージョン」についての認知向上に寄与することができた。

## (3) 「本から学ぶアイヌ民族のことは、暮らし、歴史、交流：カンピヌカラアン ロ イタク、ウレシバ、ウパシクマ、ネプキ、ウコア フカシー」展示



展示の様子

5月27日（月）～6月28日（金）、北図書館でアイヌ共生推進本部と連携しアイヌ民族・文化に関連する企画展示を実施した。これは、初年次学生を対象とし1学期に集中講義として開講される必修科目「北大での学び」の開講時期に合わせて行ったもので、アイヌ民族への関心を高めるとともに、図書館資料の活用促進を目的としている。

期間中、展示した41冊中15冊が貸し出され、貸出回数は延べ17回となった。

## 4 その他

### A 外部資金獲得

#### (1) 古本募金

図書館では、自己収入獲得を目的として平成28年から「古本募金」事業に取り組んでいる。本館と北図書館に設置した回収ステーションに古本を入れてもらう他、部局図書館・室や研究室等での回収も行っている。

古本は業者が買取り、図書館の雑収入となる。1月～12月の買取冊数は3,864冊、買取金額は233,196円であった。

#### (2) ネーミングライツ



Sky Open Area

本学では、地域の活性化・人材定着への寄与や民間企業等との連携機会の創出・拡大、教育研究環境向上のため安定した財政基盤を確立することを目的として、令和5年1月にネーミングライツ事業取扱要綱を制定した。

これに基づき、令和6年2月1日、本学とSky株式会社（以下「Sky」）が、大学施設のネーミングライツ（施設命名権）取得に関する「国立大学法人北海道大学ネーミングライツに関する契約書」を締結した。これにより、本館南棟2階オープンエリア及びリテラシールームの愛称を、「Sky Open Area」とした。なお、契約期間は令和9年1月31日までの3年間である。

本学とSkyは連携して、「Sky Open Area」の愛称が多くの学生に親しまれ定着するよう努めている。

### B 調査研究室職員プロジェクト実施報告

4月に図書館職員からプロジェクトを募集したところ4件の応募があった。審査の結果、WGを設置して行うこととなった1件を除き、3件の実施が承認された。

各プロジェクトの活動目的等は次の通りである。

#### (1) 機関内流通情報のメタデータ管理手法とその利活用に関する調査研究

##### 1) 主な活動目的

本プロジェクトは、大学運営を通じて機関内を流通する情報について、適切な収集・蓄積・利活用とはどのようなのかを再検討しつつ、図書館が得意とする情報組織化（メタデータ管理）の転用可能性を提示すべく、令和元年度より取り組んでいる調査研究である。

##### 2) 参加調査研究室員

清重周太郎、三上絢子

##### 3) 主な活動成果

今年度はおもに2つの活動に取り組んだ。

第1に、昨年度行った検討内容をまとめ对外発表を行った。具体的には「大学組織情報の流通に関する理論的研究」をテーマとする事例研究の成果について、大学行政管理学会誌に投稿したものである。8月発行の同誌第28号に「大学における事務関連規程を対象とした分析枠組の予備的検討—北海道大学の事例分析を通じて—」のタイトルで掲載され、HUSCAPにおいても閲覧可能である。

第2に、新たな調査・研究活動を行うための資金が乏しいことから、令和7年度の活動に向けて外部資金の調達に挑戦した。2件の申請を行ったものの、残念ながらどちらも獲得には至らなかった。次年度も継続して挑戦する見込みである。

#### (2) R6 電子書籍利用活性化

##### 1) 主な活動目的

昨年度の調査結果等を踏まえ、図書館で購入している電子書籍の利用を増やすための方策を検討、実施する。

昨年度に実施し好評だった北海道立図書館の利用登録会等、利用促進につながる企画等を検討、実施する。

## 2) 参加調査研究室員

菊池満史、城恭子、樋口陽子、工藤未来

## 3) 主な活動成果

### ①北海道立図書館利用登録会及び紀伊國屋書店 KinoDen 利用説明会の開催

12月18日(水)に本館玄関ロビーで、北海道立図書館の利用登録会及び紀伊國屋書店によるKinoDenの利用説明会を実施した。89名の利用登録があった。一般書の多い北海道立図書館の利用登録をすることで、学生が利用できる電子書籍の範囲を広げ、電子書籍利用の契機となることが期待される。

### ②電子書籍アクセスランキングの公開

アクセス数の多い電子書籍の一覧を公開することで、学生への認知度を向上させることを目的に実施した。集計対象はKinoDenとMaruzen eBook Libraryとし、集計期間は令和6年1月～12月。ランキングの公開は1月から、新入生への訴求効果も踏まえ5月末まで行う。

アクセスの多い電子書籍は他の学生にも必要なものである可能性があり、電子書籍利用の契機となることが期待される。

### ③電子書籍の使い方ガイドの作成

KinoDenとMaruzen eBook Libraryの利用ガイド(内容の骨子)を作成し、アカデミックスキルガイドへの追加を学習支援企画担当に提案した。

## (3) もっと利用したくなる！北大図書館ユーザービリティ向上プロジェクト

### 1) 主な活動目的

このプロジェクトでは図書館が利用者にとってより快適になるよう環境改善を検討する。館内の掲示やサイン、什器の配置等について、他館の例や空間デザイン・心理学等の研究成果等を参照し、ユニバーサルデザインの視点も取り入れて改善策を提案する。

## 2) 参加調査研究室員

小林泰名、石崎陸、近祥伍、地紙慎太郎、佐藤亜紀

## 3) 主な活動成果

まず本館と北図書館の現状の課題点についてメンバー各自が気になっている点を挙げ、整理した。利用者にとって分かりづらいのではないかと感じられることは館内掲示とホームページに関するものが多く、この2つのテーマに絞って改善案を検討することとし、班分けを行った。

### ①ホームページ班

ホームページ班は現状の課題として、以下の3点を挙げた。

- 階層構造 必要な情報に辿り着くのが困難
- デザイン・書式 重要な情報がどこにあるのか見えづらい
- アクセシビリティ 多様な状況にある利用者に利用しやすいものになっていない

上記の課題に対して以下の改善案を提案する。

- 階層構造を再編し、ナビゲーションをシンプルにする
- デザイン変更により視認性を高め、重要な情報を見やすくする
- すべての利用者が快適に利用できるよう、特に身体的な制約を抱えたユーザーのアクセシビリティを向上させる(キーボード操作、読み上げ対応、カラーユニバーサルデザイン、表のデザイン等)

上記改善案を実行するため、提案書を作成し、広報部会に提出した。

### ②館内掲示班

館内掲示班は現状の課題として、以下の3点を挙げた。

- 数が多い 重要な情報に辿り着きにくい
- 管理が不十分 景観を損ねる、情報の信頼性の低下
- レイアウトが統一されていない

上記の課題に対して以下の改善案を提案する。

- 掲示物の整理・分類
- 掲示物の管理ルールの制定 掲示期間や掲示場所を管理
- 掲示物作成のガイドラインの制定 色やデザインを統一、英語併記、ユニバーサルデザイン等

上記改善案を実行するため、提案書及びガイドライン案を作成し、利用支援課に提出した。

### ③まとめ

ホームページと館内掲示の2つについて改善提案書を作成した。図書館が利用者にとってより快適になるよう、役立てていきたい。

## C | 広報活動

### (1) 公式 X (旧 Twitter)



公式 X (旧 Twitter)

新型コロナウイルス感染症への対応の一環で、開館状況等の迅速な告知を主な目的として令和2年4月21日に開設した。今年度も、主として図書館の利用方法や展示等イベントの案内について投稿を行った。累積ツイート数はリツイートも含めて1,481件、フォロワーは2,450名である(3月末時点)。

主に学生の関心に沿った、親しみやすいツイートを続けていくことが今後の課題である。

URL : [https://x.com/Hokudai\\_Library](https://x.com/Hokudai_Library)

### (2) 公式 note



公式 note

職員が日々の業務内容や業務を通じて考えたこと等を紹介し、大学図書館やその業務に関心を持ってもらうことを目的として令和2年2月16日に開設した。

フォロワーは3月末時点で201名であり、図書館の「中の人」の生の声を読むことができる貴重な場となっている。今年度は、新たに以下の1本の記事を公開した。

- ・デジタル・ライブラリーとナレッジ・マネジメント

URL : [https://note.com/hu\\_library](https://note.com/hu_library)

## D | DX 業務推進室での活動

本学では令和4年4月1日にDX業務推進室が設置され、北海道大学デジタル・キャンパス推進の基本理念と基本方針(令和4年6月6日総長裁定)や北海道大学事務DX戦略(令和4年7月25日役員会了承)の基で事務DXを推進している。

DX業務推進室は3月現在、専従室員6名と職務付加室員11名で構成されており、図書館事務部からは1名が職務付加室員として参加している。加えて、個別のプロジェクトである「財務会計業務の電子化」にも2名が参加している。

今年度のDX業務推進室全体の主な取組みとして、次の4件が挙げられる。これらは図書館にとどまらない全学規模の取組みであり、職務付加室員は意見提出や推進に関わっている。

1件目は北海道大学統合情報共有プラットフォーム(愛称:Unire(ユニーレ))の稼働に向けた取組みである。このシステムは令和7年度に導入する学内の全ての教職員・学生を対象としたポータルシステムであり、学内の情報を集約し、情報伝達をより円滑に行うためのシステムである。

2件目はハイブリッドワークに対応したICT環境構築の推進である。

3件目は事務DXや新たな働き方推進のための意識醸成を促進するMX（マインド・トランスフォーメーション）研修の開始である。図書館事務部の職員も本研修を受講している。

4件目は広報活動の拡充である。11月に学外向け広報Webサイト「北海道大学 事務DXメディア」を開設する等、多様な媒体から上述の取組みに加えてその他のプロジェクトやイベントを含めた情報発信を行っている。

職務付加室員は上記4件に加え、「業務の平準化・システム化」プロジェクト「図書班」として、所属図書室においてCopilotやFormsを活用した業務効率化を実践し、図書館事務部内で事例発表を行った。また、12月3日（火）に開催された国立大学図書館協会北海道地区協会 令和6年度地区助成事業「図書館業務におけるDX化の現状と課題について」において職務付加室員としての2年余りの活動について事例発表を行い、事務職員への電子書籍周知の取組み等を報告した。

# 連携事業

令和6年度

No.	時期	内容	連携・連携先	学内外	備考（北大時報やX掲載等）
1	4/1～3/31	大学院特別教育プログラム OGGs（オグズ）展示（本館・北図書館、通年）	学務部国際交流課	学内	X掲載 4/2
2	4/1～3/31	スタディ・スキルセミナー	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	X掲載 4/18
3	4/18、4/25、5/9	基礎からはじめる「法情報の探し方」セミナー	法学政治学資料センター	学内	
4	4/25～6/25	「ようこそ北大へ！新生活を彩る、役に立つおすすめ本」展示（北図書館）	北海道大学生生活協同組合書籍部	学外	X掲載 4/26
5	5/9～5/31	日・EU フレンドシップウィークイベント「EU LUV！ベルギー&ハンガリー図書展示 ～2024 EU議長国から～」	駐日欧州連合代表部広報部	学外	X掲載 6/14
6	5/23～6/13	出張学習サポート参考図書展示（北図書館）	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	X掲載 5/22
7	5/27～6/28	北海道大学アイヌ共生推進本部×北図書館「本から学ぶアイヌ民族のこゝろ、暮らし、歴史、交流」展示（北図書館）	アイヌ共生推進本部	学内	X掲載 5/27
8	8/29～10/21	全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示（本館・北図書館）	北海道大学生生活協同組合書籍部	学外	
9	9/24～11/8	学部選択参考図書展示（北図書館）	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	
10	10/27～11/9	企画展示「この一行に逢いに来た（読書週間）」（水産科学研究院）	キャンパス・コンソーシアム函館ライブラリリンク	学外	
11	11/7	文献収集・管理ツール講習会（番外編 Pivot-RP の紹介）	統合 URA 本部	学内	北大時報 No.851（令和7年2月）
12	11/12～1/20	企画展示「一人でじっくり考えたいときに読む本」（水産科学研究院）	函館キャンパス医務室・学生支援室	学内	
13	11/14、11/28	基礎からはじめる「法情報の探し方」セミナー	法学政治学資料センター	学内	
14	11/14	文献収集・管理ツール講習会（Zotero 編）	メディア・コミュニケーション研究院 ミハエル・シルツ准教授	学内	北大時報 No.851（令和7年2月）
15	12/12	メディア・コミュニケーション研究院 FD 研修「アカデミアにおける「ハゲタカ問題」について」	メディア・コミュニケーション研究院	学内	
16	12/16～3/14	ダイバーシティ&インクルージョン図書展示（本館・北図書館）	ダイバーシティ・インクルージョン推進本部	学内	
17	12/18	北海道立図書館利用登録会及び KinoDen 利用説明会	北海道立図書館、紀伊國屋書店	学外	
18	12/26	Writing a Compelling Article for Journal Submission（英語論文執筆セミナー）	先端人材育成センター・I-HoP	学内	

# ガイダンス・講習会

令和6年度

No.	時期	内容
1	4/1	法学部2年生進級ガイダンスでの図書館利用案内（対面）
2	4/2	公共政策大学院入学向けガイダンスでの図書館利用案内（対面）
3	4/2	図書室利用ガイダンス（対面）（薬学研究院）
4	4/15、4/22、5/13	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：蝦名康彦教授）全3回
5	4/16	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（法学研究科：嶋拓哉教授）
6	4/17	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：児矢野マリ教授）
7	4/17	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（文学研究院：川口暁弘教授）
8	4/17、4/25、5/9	基礎からはじめる「法情報の探し方」セミナー（対面）全3回
9	4/24	オーダーメイド講習会（対面）（文学研究院：小川佐和子准教授）学部生向け・大学院生向け各1回
10	4/24	オーダーメイド講習会（対面）（経済学研究院：高井哲彦准教授）
11	5/8	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（法学研究科：池田悠教授）
12	5/17	文献探索ガイダンス（オンライン）（水産科学研究院）
13	5/21	オーダーメイド講習会（対面）（医学研究院：公衆衛生学 MPH コース）
14	5/29	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：中田翔太助教）
15	6/26	eol 講習会（対面）（経済学研究院）
16	7/3	オーダーメイド講習会（対面）（歯学研究院：歯学研究概論）
17	7/18	ジャパンナレッジ講習会（対面）全2回
18	7/25、7/29、7/31	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：阿部匡樹教授）全3回
19	8/5	オーダーメイド講習会（オンライン）（病院：医療・ヘルスサイエンス研究開発機構）
20	9/10	オーダーメイド講習会（対面・オンデマンド）（歯学研究院：平田恵理助教）
21	9/11、9/18	オーダーメイド講習会（対面）（病院：薬剤部 熊井正貴副薬剤部長）全2回
22	9/25	基礎実習ガイダンス 参考文献の探し方（対面）（薬学研究院）
23	10/1～10/4	図書室利用ガイダンス（対面）（水産科学研究院）全12回
24	10/3	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：高島弘幸准教授）
25	10/17	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：田上貴祥准教授）
26	10/21	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（法学研究科：経済法ゼミ）
27	10/25	CAS SciFinder オンライン講習会（オンライン）（薬学研究院）
28	10/28	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（法学研究科：民法学ゼミ）
29	10/29、11/5	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：石田知也講師）
30	10/30、11/6、11/14	文献収集・管理ツール講習会「Mendeley」（オンライン）、「Web of Science + EndNote」（オンライン）、「Zotero」（対面・オンデマンド）全3回
31	10/31	オーダーメイド講習会（対面）（薬学研究院：薬物動態解析学・臨床薬剤学）
32	11/7	Pivot-RP 講習会（研究資金助成金申請書の書き方セミナー）（オンライン）
33	11/7	就職活動にも役立つ！経済情報データベース「日経テレコン」活用講座（対面・オンライン）

No.	時期	内容
34	11/13	eol 講習会（対面）（経済学研究院）
35	11/14、11/28	基礎からはじめる「法情報の探し方」セミナー（対面）
36	11/20	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：実山豊講師）
37	11/25	国際機関情報の探し方セミナー「国連編」「EU編」（対面）
38	11/26	オーダーメイド講習会（対面）（志堅原郁子非常勤講師）
39	12/4、12/11	オーダーメイド講習会（対面）（歯学研究院：フロンティア基礎科目）全2回
40	12/10	CAS SciFinder 講習会（対面）（理学研究院）
41	12/12	メディア・コミュニケーション研究院 FD 研修「アカデミアにおける「ハゲタカ問題」について」（対面）
42	12/26	Writing a Compelling Article for Journal Submission（英語論文執筆セミナー）（オンライン）
43	通年	2024年度図書館30分セミナー「書庫利用ガイダンス編」（対面）全24回
44	通年	2024年度図書館30分セミナー「資料収集の基本編」（対面）全9回
45	通年	30分講習会（対面・オンライン）（医系グループ）全7回

# 活動日誌

令和6年度

時期	内容	
4月	4/19	第56回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（館長、副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、管理課課長補佐、管理課）（小樽商科大学、オンライン）
	4/25～6/25	「ようこそ北大へ！新生活を彩る、役に立つおすすめ本」展示（北図書館）
5月	5/9～5/31	日・EUフレンドシップウィークイベント「EU LUV！ ベルギー＆ハンガリー図書展示 ～2024 EU議長国から～」
	5/10	白糠町立庶路学園来館
	5/14	砂川市立砂川中学校来館
	5/16	北海道地区大学図書館協議会相互利用サービス事務担当者会議（利用支援課）（北星学園大学）
	5/20	国立大学図書館協会令和5年度春季理事会（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）（オンライン）
	5/23	根室市立光洋中学校来館
	5/23～6/13	出張学習サポート参考図書展示（北図書館）
	5/27～6/28	北海道大学アイヌ共生推進本部×北図書館「本から学ぶアイヌ民族のことば、暮らし、歴史、交流」展示（北図書館）
	5/31	北海道札幌啓成高等学校来館
	5/31	北海道地区大学図書館協議会令和5年度第3回幹事館会議（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
	6月	6/5
6/5		第66回北海道地区大学図書館職員研究集会第2回企画委員会（利用支援課課長補佐）
6/6		大学図書館コンソーシアム連合OA推進作業部会会議（研究支援課）
6/6～6/7		COAR Conference in Gothenburg, Sweden(管理課)(スウェーデン)
6/7		北海道地区助成事業企画WG第一回打ち合わせ(利用支援課)
6/12～6/13		学術基盤オープンフォーラム2024(管理課)(オンライン)
6/14		学術情報流通に関する連続セミナー 第4回「オープンアクセス時代にかかわる研究評価の在り方:現状と未来」(利用支援課長、管理課課長補佐)(オンライン)
6/20		Adobe Education Forum 2024（利用支援課）（立命館大学）
6/20		オホーツク管内公共図書館協議会遠軽・紋別地区部会及び紋別地区社会教育推進協議会図書館部会 視察研修会
6/25		第1回北海道図書館連絡会議及び第64回北海道図書館大会第4回運営委員会（利用支援課長）
6/28		第1回学術研究コンテンツ小委員会（オンライン）
6/28		ソウル大学校中央図書館関係者来館
7月		7/1～9/30
	7/9～7/10	第71回国立大学図書館協会総会（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長）（宮崎、オンライン）
	7/10	第71回国立大学図書館協会総会研究集会「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた大学及び図書館における対応について」(管理課課長補佐)（オンライン）
	7/12	北京大学来館
	7/16	第1回機関リポジトリシステム仕様策定委員会
	7/17	第258回(令和6年度第1回)図書館委員会(オンライン)
	7/19	EU i セミナー（利用支援課）（オンライン）
	7/19～8/1	第2回機関リポジトリシステム仕様策定委員会(メール審議)
	7/23	第66回北海道地区大学図書館職員研究集会第3回企画委員会（利用支援課課長補佐）
	7/24	北海道地区大学図書館協議会令和5年度第4回幹事館会議（持ち回り）（利用支援課長）
8月	8/1～9/30	図書室移転に伴う閉室期間(水産科学研究院)
	8/2～8/23	第1回図書選定小委員会（メール審議）
	8/6	藤女子大学来館
	8/6	第66回北海道地区大学図書館職員研究集会（館長、利用支援課長、利用支援課課長補佐、利用支援課）（札幌大学）
	8/23～9/29	「北方古地図（第1期）北海道図の変遷」展
	8/28	第74回北海道地区大学図書館協議会総会（館長、事務部長、利用支援課長、利用支援課課長補佐）（札幌）
	8/29～10/21	全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示（本館・北図書館）

時期	内容
9月	9/2～9/6 北海道大学インターンシップ(1名)、図書館実習(北海道武蔵女子短期大学2名)
	9/12～9/13 第64回北海道図書館大会(利用支援課長、利用支援課課長補佐、利用支援課)(札幌)
	9/13 国立大学図書館協会近畿地区助成事業「新入生の迎え方―高大接続の現状から大学図書館の取り組みを再考する―」(利用支援課)(オンライン)
	9/24～11/8 学部選択参考図書展示(北図書館)
10月	10/1 水産科学未来人材育成館2階図書室に移転(水産科学研究院)
	10/7 国立大学図書館協会第1回総務委員会(利用支援課)(オンライン)
	10/8 第1回学術成果刊行助成審査委員会(オンライン)
	10/11 学術情報流通に関する連続セミナー 第5回「オープンアクセスと日本の学会誌の展開」(利用支援課長、管理課課長補佐)(オンライン)
	10/18 学術出版に関する交渉方針検討会(事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)(オンライン)
	10/21 公共政策実地調査参加委員・大学基準協会評価事業部来館
	10/24～11/28 「北海道大学附属図書館×SDGs関連図書展示」(Web)
	10/27～11/9 企画展示「この一行に逢いに来た(読書週間)」(水産科学研究院)
	10/28 第2回学術研究コンテンツ小委員会(オンライン)
11月	11/1 北海道地区大学図書館協議会第1回幹事館会議(持ち回り)(利用支援課長)
	11/6 図書館総合展「オープンアクセス加速化事業中間報告会 ～加速後のその先の世界へ～」(研究支援課)(オンライン)
	11/7～1/8 図書展示ノーベル賞から見える世界の「今」(北図書館)
	11/8 学術情報流通に関する連続セミナー 第6回「学術誌・データのオープン化、質、逃れられない曖昧さと実践的アプローチ」(利用支援課長、管理課課長補佐、研究支援課)(オンライン)
	11/11～11/25 第2回図書選定小委員会(メール審議)
	11/12～1/20 企画展示「一人でじっくり考えたいときに読む本」(水産科学研究院)
	11/15 一般社団法人出版研究会来館
	11/15 札幌市立啓明中学校来館
	11/15 国立大学図書館協会秋季理事会(館長、事務部長、管理課長)(オンライン)
	11/19 北海道武蔵女子短期大学来館
	11/19 筑波大学オープンアクセス加速化事業シンポジウム「研究成果をオープンにすると」(管理課課長補佐)(オンライン)
	11/22 北海道地区大学図書館職員スキルアップセミナー(利用支援課長、利用支援課課長補佐、管理課)(本学)
	11/22 第4回千葉大学アカデミック・リンク/ALPSセミナー「大学図書館における学習支援：どのようにコンセプトを組み立て、具体化するか」(利用支援課)(オンライン)
	11/29 ABSC・JEP A 共催オンラインセミナー 視覚に障害のある人は、どのように本を読んでいるのか ～出版者のためのアクセシブル・ブックス超入門セミナー～(利用支援課)(オンライン)
12月	12/3 JMLA 学術集会「診療ガイドライン講演会」(研究支援課)(オンライン)
	12/3 北海道地区協会助成事業「図書館業務におけるDX化の現状と課題について」(管理課、利用支援課)(オンライン)
	12/3 学術出版に関する交渉方針検討会(事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)(オンライン)
	12/4 第2回北海道図書館連絡会議及び第65回北海道図書館大会第1回運営委員会(利用支援課長)
	12/5 ソウル大学来館
	12/6 国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議(事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)(本学、オンライン)
	12/9,12/17,12/24 「機関リポジトリの次の一手を考える」シリーズ(研究支援課)(オンライン)
	12/12 第259回(令和6年度第2回)図書館委員会(オンライン)
	12/12 地区協会助成事業(関東甲信越地区)研修会(管理課)(オンライン)
	12/13 学術情報流通に関する連続セミナー 第7回「オープンアクセス時代の責任ある研究・イノベーションと研究者の実像」(利用支援課長)(オンライン)
	12/16～3/14 ダイバーシティ&インクルージョン図書展示(本館・北図書館)
	12/18 北海道立図書館利用登録会及びKinoDen利用説明会
	12/23 OA加速化事業シンポジウム 機関リポジトリ活用の可能性：フィールド研究データの蓄積・活用(管理課課長補佐)(オンライン)

時期	内容
1月	1/8 第98次国立七大学附属図書館協議会（館長、副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）（オンライン）
	1/8～3/19 進路選択応援！ 就活・進学関連図書展示（北図書館）
	1/10 国立大学図書館協会資料委員会主催公開勉強会「研究成果の可視化と大学図書館」（利用支援課長、管理課課長補佐）（オンライン）
	1/14 北海道地区大学図書館協議会第2回幹事館会議（利用支援課長、利用支援課長補佐）（オンライン）
	1/21 第2回学術成果刊行助成審査委員会（オンライン）
	1/21 国立大学図書館協会九州地区協会地区助成事業「大学図書館における外部資金獲得」セミナー（利用支援課長、管理課課長補佐）（オンライン）
	1/28 第8回東京大学学術資産アーカイブ化推進室主催セミナー「光源氏はデジタルアーカイブの夢を見るか？」（利用支援課長）（オンライン）
	1/29 COAR2025 年次大会地域組織委員会（管理課）（国立情報学研究所）
	1/30 SPARC Japan セミナー 2024 「オープンアクセス義務化の先にあるもの：来るべき世界に向けて」（利用支援課、研究支援課）（オンライン）
	2月
2/13 第65回北海道図書館大会第2回運営委員会（利用支援課長）	
2/20 第20回レファレンス協同フォーラム「生成AIはレファレンスサービスに何をもたらすか」（利用支援課長、利用支援課）（オンライン）	
2/25～2/26 館内 ELMS 端末撤去（本館）	
3月	
	3/4 第3回学術研究コンテンツ小委員会（オンライン）
	3/10 国立大学図書館協会シンポジウム「AI時代における大学図書館の対応：課題と展望」（管理課課長補佐、研究支援課）（オンライン）
	3/11 第67回北海道地区大学図書館職員研究会第1回企画委員会（利用支援課課長補佐）
	3/14 第1回質保証小委員会、第260回（令和6年度第3回）図書館委員会（オンライン）
	通年

# 学外講師派遣等

令和6年度

No.	時期	報告者	内容	発表先・媒体	連携・連携先	学内・学外	種別（寄稿、発表、講師、論文等）
1	4/17～ 4/18	前田隼	Accelerating Open Access through Repositories: Developing Japan's model to Global Model	The Promise and Practice of Open Science - Asia OA Meeting in New Delhi, India	Confederation of Open Access Repositories	学外	講師
2	6/12	前田隼	全体討議	NII オープンフォーラム「困った！即時OA」	国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター	学外	パネリスト
3	6/17	三上絢子	公開・流通用メタデータに求められる項目と入力例の紹介	ジャパン・オープンサイエンス・サミット2024 セッションD1「研究データのメタデータのあるべき姿とは？」	研究データ利活用協議会	学外	講師
4	8/6	工藤未来	図書館における地震防災について	第66回北海道地区大学図書館職員研究会	北海道地区大学図書館協議会	学外	発表(事例報告)
5	9/13	前田隼	演題不明	青森県立保健大学ヘルスプロモーション戦略研究センター・附属図書館 FD 研修会		学外	講師
6	12/5	横井有紀	パネルディスカッション「大学職員の生き様—過去・現在・未来—」	北海道地区大学 SD 研修「大学職員セミナー」		学内	パネリスト
7	12月	石崎睦、川村幸	北大附属図書館が所蔵する札幌農学校所属博物館旧蔵開拓使写真に関する基礎的考察(予報)／加藤克、石崎睦、川村幸	札幌博物場研究会誌 2024:23-73 2024	北海道大学北方生物園 フィールド科学センター植物園・博物館	学内	論文

# 統計

## 基盤統計

令和6年度蔵書・受入統計（対象期間：R6.4.1～R7.3.31）

区分	所蔵冊数 (令和7年3月31日現在)			受入冊数(令和6年度)											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館(本館)	1,037,189	886,439	1,923,628	3,538	313	3,851	2,370	37	2,407	295	28	323	6,203	378	6,581
附属図書館(北図書館)	270,939	118,052	388,991	3,185	143	3,328	304	25	329	19	0	19	3,508	168	3,676
文学研究院・文学院・文学部	104,261	45,878	150,139	652	315	967	2,793	892	3,685	144	71	215	3,589	1,278	4,867
法学研究科・法学部	7,696	1,709	9,405	91	59	150	516	295	811	294	230	524	901	584	1,485
経済学研究院・経済学院・経済学部	6,618	2,369	8,987	76	3	79	157	9	166	0	0	0	233	12	245
医学研究院・医学院・医学部	53,230	93,639	146,869	260	46	306	36	23	59	81	2	83	377	71	448
歯学研究院・歯学院・歯学部	23,023	16,008	39,031	100	6	106	41	9	50	35	5	40	176	20	196
工学研究院・工学院・工学部	108,222	100,729	208,951	1,176	65	1,241	1,171	102	1,273	183	39	222	2,530	206	2,736
獣医学研究院・獣医学院・獣医学部	8,658	23,163	31,821	12	15	27	4	14	18	5	15	20	21	44	65
情報科学研究院・情報科学院	13,768	17,016	30,784	79	0	79	0	0	0	0	0	0	79	0	79
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	73,290	54,605	127,895	218	12	230	75	25	100	43	7	50	336	44	380
地球環境科学研究院・環境科学院	6,362	7,060	13,422	26	4	30	30	10	40	7	0	7	63	14	77
理学研究院・理学院・理学部	48,009	172,795	220,804	406	73	479	370	185	555	8	20	28	784	278	1,062
薬学研究院・薬学部	8,185	3,722	11,907	100	1	101	41	66	107	10	0	10	151	67	218
農学研究院・農学院・農学部	127,525	96,940	224,465	410	30	440	113	49	162	37	19	56	560	98	658
先端生命科学研究院・生命科学院	246	180	426	15	2	17	1	0	1	0	0	0	16	2	18
教育学研究院・教育学院・教育学部	13,982	2,860	16,842	233	18	251	65	4	69	83	6	89	381	28	409
メディアコミュニケーション研究院、国際広報メディア・観光学院	1,112	1,764	2,876	6	1	7	24	1	25	0	0	0	30	2	32
保健科学研究院・保健科学院	28,622	3,971	32,593	311	5	316	28	0	28	29	0	29	368	5	373
公共政策大学院	0	0	0	10	2	12	2	7	9	0	0	0	12	9	21
低温科学研究所	10,568	24,391	34,959	1	6	7	10	8	18	11	4	15	22	18	40
電子科学研究所	509	296	805	0	0	0	5	6	11	0	0	0	5	6	11
遺伝子病制御研究所	46	31	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触媒科学研究所	4,939	17,030	21,969	0	0	0	9	0	9	0	0	0	9	0	9
スラブ・ユーラシア研究センター	3,613	77,959	81,572	52	820	872	87	1,826	1,913	0	0	0	139	2,646	2,785
情報基盤センター	88	1	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際連携機構	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等教育推進機構	2,583	647	3,230	0	0	0	7	0	7	0	0	0	7	0	7
大学院教育推進機構	112	10	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合博物館	10,914	3,568	14,482	1	4	5	120	3	123	0	0	0	121	7	128
北方生物圏フィールド科学センター	6,566	1,854	8,420	14	3	17	90	24	114	0	0	0	104	27	131
大学文書館	3,720	83	3,803	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局	0	0	0	10	0	10	0	0	0	0	0	0	10	0	10
アイヌ・先住民研究センター	4,938	681	5,619	13	0	13	104	10	114	0	0	0	117	10	127
人間知・脳・AI研究教育センター	16	17	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合イノベーション創発機構	19	3	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,989,569	1,775,470	3,765,039	10,995	1,946	12,941	8,573	3,630	12,203	1,284	446	1,730	20,852	6,022	26,874

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。

※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

## 令和6年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：R6.4.1～R7.3.31）

区分	所蔵種類数 (令和7年3月31日現在)			受入種類数(令和6年度)								
				購入			寄贈			合計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館(本館)	22,067	14,221	36,288	140	26	166	315	14	329	455	40	495
附属図書館(北図書館)	974	640	1,614	118	4	122	12	1	13	130	5	135
文学研究院・文学院・文学部	2,013	665	2,678	186	127	313	444	8	452	630	135	765
法学研究科・法学部	639	260	899	129	124	253	247	20	267	376	144	520
経済学研究院・経済学院・経済学部	980	232	1,212	86	12	98	215	20	235	301	32	333
医学研究院・医学院・医学部	3,262	2,485	5,747	154	22	176	123	3	126	277	25	302
歯学研究院・歯学院・歯学部	580	501	1,081	23	3	26	103	10	113	126	13	139
工学研究院・工学院・工学部	2,612	2,706	5,318	81	19	100	91	6	97	172	25	197
獣医学研究院・獣医学院・獣医学部	505	832	1,337	17	18	35	27	3	30	44	21	65
情報科学研究院・情報科学院	430	456	886	51	4	55	8	0	8	59	4	63
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	3,240	2,220	5,460	62	7	69	118	12	130	180	19	199
地球環境科学研究院・環境科学院	211	276	487	21	3	24	15	0	15	36	3	39
理学研究院・理学院・理学部	752	3,482	4,234	36	21	57	18	57	75	54	78	132
薬学研究院・薬学部	163	133	296	6	0	6	22	0	22	28	0	28
農学研究院・農学院・農学部	5,298	3,499	8,797	146	24	170	171	36	207	317	60	377
先端生命科学研究院・生命科学学院	13	10	23	6	0	6	0	0	0	6	0	6
教育学研究院・教育学院・教育学部	718	127	845	97	8	105	71	2	73	168	10	178
メディアコミュニケーション研究院、国際広報メディア・観光学院	62	32	94	9	1	10	2	0	2	11	1	12
保健科学研究院・保健科学院	804	131	935	26	1	27	18	0	18	44	1	45
公共政策大学院	3	0	3	2	0	2	0	0	0	2	0	2
低温科学研究所	835	949	1,784	14	1	15	34	10	44	48	11	59
電子科学研究所	20	6	26	9	0	9	0	0	0	9	0	9
遺伝子病制御研究所	5	21	26	2	0	2	1	0	1	3	0	3
触媒科学研究所	87	381	468	12	3	15	3	0	3	15	3	18
スラブ・ユーラシア研究センター	276	1,872	2,148	15	141	156	30	12	42	45	153	198
情報基盤センター	12	3	15	3	0	3	0	0	0	3	0	3
国際連携機構	1	1	2	1	0	1	1	0	1	2	0	2
高等教育推進機構	82	71	153	6	4	10	2	2	4	8	6	14
大学院教育推進機構	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
総合博物館	856	418	1,274	1	0	1	2	1	3	3	1	4
北方生物圏フィールド科学センター	19	66	85	18	2	20	1	0	1	19	2	21
大学図書館	306	12	318	66	1	67	26	1	27	92	2	94
アイヌ・先住民研究センター	125	13	138	3	1	4	4	0	4	7	1	8
人間知・脳・AI研究教育センター	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	2	2
総合イノベーション創発機構	4	0	4	1	0	1	2	0	2	3	0	3
計	47,955	36,722	84,677	1,548	579	2,127	2,126	218	2,344	3,674	797	4,471

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
IEEE/IET Electronic Library	0	394	394
Oxford Journal Collection	0	353	353
ScienceDirect (Elsevier)	0	2,278	2,278
Wiley Online Library	0	1,326	1,326
その他	28	3,108	3,136
<b>小計</b>	<b>28</b>	<b>7,459</b>	<b>7,487</b>
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
BioOne Complete	0	219	219
EBSCO Academic Search Premier	0	4,706	4,706
JSTOR	0	189	189
ProQuest	0	8,961	8,961
メディカルオンライン	1,623	0	1,623
<b>小計</b>	<b>1,623</b>	<b>14,075</b>	<b>15,698</b>
<b>合計</b>	<b>1,651</b>	<b>21,534</b>	<b>23,185</b>

(R7.3.31 現在)

電子書籍提供タイトル数

プロバイダ	タイトル数		計
	和	洋	
ACM Digital Library	0	13,069	13,069
EBSCOhost	287	1,992	2,279
Elsevier	0	1,375	1,375
Kinokuniya Company Ltd. (KinoDen)	4,147	13	4,160
Meteo, Inc. (メディカルオンライン)	841	0	841
NetAdvance (ジャパンナレッジ)	1,590	2	1,592
ProQuest Ebooks	0	1,304	1,304
Springer Nature	0	25,311	25,311
Wiley	0	1,182	1,182
丸善雄松堂株式会社 (Maruzen eBook Library)	7,008	1,515	8,523
その他	164	1,144	1,308
<b>合計</b>	<b>14,037</b>	<b>46,907</b>	<b>60,944</b>

(R7.3.31 現在)

契約データベース一覧

ABSEES (American Bibliography of Slavic and East European Studies)
Biological Science Collection
CAS SciFinder®
CINAHL
CNKI : 中国学術文献オンラインサービス
EconLit
Lexis+
MarinLit
MathSciNet
Oxford English Dictionary
ProQuest Dissertations & Theses Global
Reaxys
Sociological Abstracts
TAIR (The Arabidopsis Information Resource)
Ulrichsweb (Ulrich's Periodicals Directory)
Web of Science Core Collection
医中誌 Web
ジャパンナレッジ Lib
日経 BP 記事検索サービス
日経テレコン 21
法科大学院教育研究支援システム (LEX/DB インターネット)
法情報総合データベースサービス (第一法規)

(R7.3.31 現在)

利用統計

令和6年度利用統計（対象期間：R6.4.1～R7.3.31）

区分	入館者数			貸出冊数			相互協力件数				学内 ILL 件数		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	246,595	18,574	265,169	94,599	27,841	122,440	1,805	1,597	784	958	66	93	161
附属図書館（北図書館）	478,941	6,242	485,183	96,254	15,747	112,001	43	30	53	70	16	9	1,417
文学研究院・文学部図書室	2,557	16	2,573	266	75	341	-	-	-	-	-	-	415
経済学院・経済学部図書室	6,157	-	6,157	387	63	450	-	-	-	-	-	-	22
医学研究院・医学院・医学部図書室	29,022	93	29,115	4,504	1,039	5,543	552	197	4	6	36	47	171
歯学研究院・歯学院・歯学部図書室	16,550	9	16,559	3,110	1,103	4,213	8	19	1	4	5	6	245
工学研究院図書室	62,669	117	62,786	14,714	3,399	18,113	69	76	10	31	13	13	78
獣医学研究院図書室	-	4	4	913	284	1,197	12	25	2	6	3	5	-
水産科学研究所・水産科学院・水産学部図書室	29,393	47	29,440	3,409	309	3,718	12	17	237	45	9	8	373
地球環境科学研究所図書室	1,555	11	1,566	413	70	483	8	4	2	2	5	0	21
理学研究院・理学院・理学部図書室	8,203	-	8,203	5,882	1,731	7,613	75	52	23	30	24	33	111
薬学研究院・薬学部図書室	28,368	-	28,368	2,180	57	2,237	27	22	4	2	12	8	0
農学研究院図書室	37,554	42	37,596	4,311	649	4,960	57	163	14	26	22	13	170
教育学院・教育学研究院図書室	3,143	-	3,143	332	62	394	-	-	-	-	-	-	31
保健科学研究所図書室	26,484	32	26,516	1,360	278	1,638	337	43	3	4	37	14	142
低温科学研究所図書室	412	3	415	84	11	95	5	6	0	3	2	3	40
北キャンパス図書室	2,382	-	2,382	12	63	75	11	12	1	1	3	1	12
計	979,985	25,190	1,005,175	232,730	52,781	285,511	3,021	2,263	1,138	1,188	253	253	3,409

※文学部、経済学部、教育学部は相互協力を附属図書館が担当

※「学内 ILL 件数」は複写のみの数値。札幌キャンパス-函館キャンパス間の現物貸借は「相互協力件数」に含む

主要な電子ジャーナルのアクセス件数  
（対象期間：R6.1.1～R6.12.31）

出版社系パッケージ	件数
ScienceDirect (Elsevier)	934,507
Wiley Online Library	352,056
Oxford Journal Collection	80,516
IEEE/ET Electronic Library	47,322
その他	1,030,770
小計	2,445,171
アグリゲータ系パッケージ	件数
メディカルオンライン	52,753
ProQuest	28,119
JSTOR	12,746
BioOne Complete	5,965
EBSCO Academic Search Premier	6,825
小計	106,408
合計	2,551,579

主要な電子書籍のアクセス件数  
（対象期間：R6.4.1～R7.3.31）

プロバイダー	件数
NetAdvance (ジャパンナレッジ)	169,804
丸善雄松堂株式会社 (Maruzen eBook Library)	32,333
Kinokuniya Company Ltd. (KinoDen)	22,261
Springer Nature	7,772
Elsevier	3,335
Wiley	1,210
ProQuest Ebooks	1,421
EBSCOhost	523
合計	238,659

図書館 HP 等の利用  
（対象期間：R6.4.1～R7.3.31）

区分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	1,465,746	7,954,412	9,420,158
OPAC の検索回数	740,061	2,154,558	2,894,619
HUSCAP ダウンロード件数	42,538	6,715,311	6,757,849
北方資料データベースアクセス件数	237,151	7,842,565	8,079,716
X (旧 Twitter) フォロワー数 (R7.3.31 現在)	-	-	2,450

主要なデータベースのアクセス件数  
（上位 15 データベース）（対象期間：R6.4.1～R7.3.31）

データベース名	件数
Web of Science	306,851
ジャパンナレッジ Lib	187,985
CAS SciFinder®	141,416
医中誌 Web	105,420
日経テレコン 21	93,428
MarinLit	39,569
MathSciNet	34,842
Reaxys	31,469
TAIR: The Arabidopsis Information Resource	20,459
日経 BP 記事検索サービス	19,279
CNKI: 中国学術文献オンラインサービス	17,761
LEX/DB インターネット	7,807
CINAHL	5,359
Oxford English Dictionary	4,500
Lexis+	2,861
合計	1,019,006

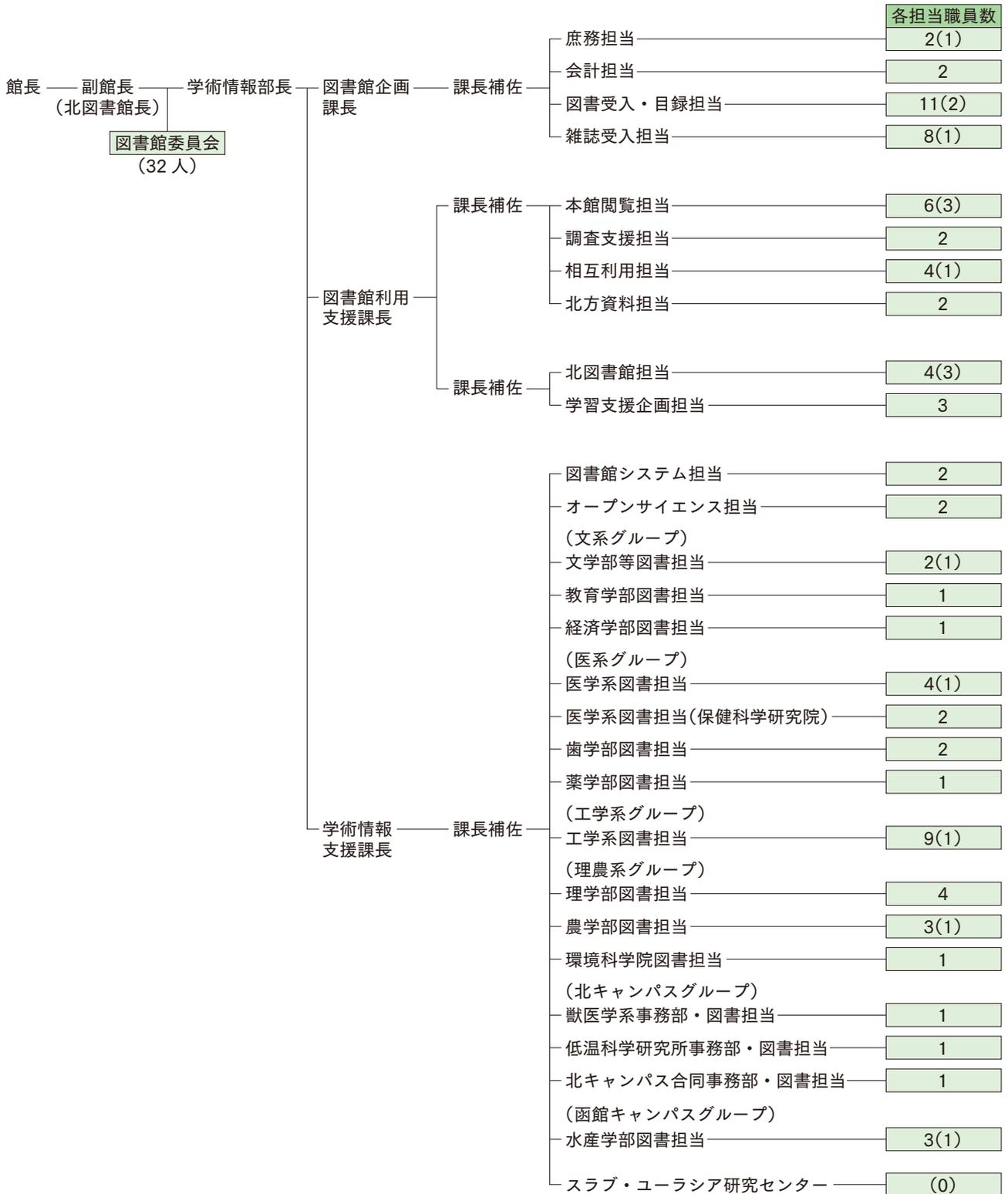
# 図書館委員会名簿

## 令和7年度図書館委員会委員名簿

令和7年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名
理事・副学長	館 長	山 本 文 彦
大学院薬学研究院	副館長	佐 藤 美 洋
大学院法学研究科	教 授	會 澤 恒
大学院水産科学研究院	教 授	和 田 哲
大学院地球環境科学研究院	准教授	廣 川 淳
大学院理学研究院	准教授	松 永 悟 明
大学院薬学研究院	准教授	大 西 英 博
大学院農学研究院	教 授	尾之内 均
大学院先端生命科学研究院	准教授	北 村 朗
大学院教育学研究院	教 授	池 田 恵 子
大学院メディア・コミュニケーション研究院	教 授	鍋 島 孝 子
大学院保健科学研究院	准教授	岩 本 幹 子
大学院工学研究院	教 授	菊 地 竜 也
大学院経済学研究院	教 授	岩 田 智
大学院医学研究院	教 授	青 山 英 史
大学院歯学研究院	准教授	吉 村 善 隆
大学院獣医学研究院	准教授	森 下 啓太郎
大学院文学研究院	教 授	松 嶋 明 男
大学院情報科学研究院	教 授	小 林 孝 一
大学院公共政策学連携研究部	准教授	開 出 雄 介
北海道大学病院	教 授	坂 本 直 哉
低温科学研究所	准教授	大 場 康 弘
電子科学研究所	教 授	田 中 嘉 人
遺伝子病制御研究所	准教授	紙 谷 尚 子
触媒科学研究所	准教授	飯 田 健 二
人獣共通感染症国際共同研究所	教 授	大 場 靖 子
スラブ・ユーラシア研究センター	教 授	青 島 陽 子
高等教育推進機構	准教授	石 川 奈保子
学術情報部	部 長	久保田 壮 活
学術情報部図書館企画課	課 長	福 井 啓 介
学術情報部図書館利用支援課	課 長	横 井 有 紀
学術情報部学術情報支援課	課 長	中 村 陽

# 組織図 (令和7年4月1日現在)



※ ( ) 内は非正規職員で外数

職名	事務部長	課長	課長補佐	係長	係員等	合計
計	1人	3人	4人	29人	55(16)人	92(16)人

※ ( ) 内は非正規職員で外数

# 北海道大学附属図書館年報 2025

発行 令和7年9月

編集 北海道大学附属図書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL: 011-706-2967 FAX: 011-747-2855

Homepage: <https://www.lib.hokudai.ac.jp>

X (旧Twitter): [https://x.com/Hokudai\\_Library](https://x.com/Hokudai_Library)



Homepage



X (旧 Twitter)